

1 富山らしい魅力創出

(1) 地域資源の発掘と観光資源のブラッシュアップ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
歴史と文化が薫るまちづくりモデル支援事業 (93,580千円)	<p>歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、推進計画の策定や同計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湧水の恵みが溢れる交流の里づくり（入善町） ・鰻絵と街道がつなぐ過去・現在・未来（射水市） ・万葉の風土に寺内町の風情があふれ、みなと町の香り漂う歴史と文化のまち（高岡市） ・棟方志功が暮らした「福光」、巴御前終焉の地「福満」まちづくり（南砺市） <p style="text-align: right;">ほか6件</p>	地域振興課
水辺のまちづくり推進事業 (900千円)	<p>「水の王国とやま」の豊かな水資源を活かした、水辺のまちづくりに取り組む市町村・市民活動を支援し、地域の新たな魅力の創出、観光振興、地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千保川親水・楽水プロジェクト事業（高岡市） <p style="text-align: right;">ほか1件</p>	地域振興課
ふるさと資源パワーアップ事業 (4,892千円)	<p>北陸新幹線の開業を見据え、地域住民が地域資源を活用し、主体的に取り組む活動等を支援し、地域の新たな魅力の創出、観光振興、地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大伴家持上京の旅 <p style="text-align: right;">ほか10件</p>	地域振興課
プロスポーツチーム地域活性化事業 (4,500千円)	<p>プロスポーツチームの運営会社が取り組む地域活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績 3団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施 海外チームとの交流事業の実施 など 	地域振興課
「明日のとやまブランド」育成支援事業 (4,992千円)	<p>事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6品目7事業者を新たに選定 	地域振興課

<p>環水公園等賑わい空間創出事業 (33,340千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業を見据え、次のようなイベントを開催し、環水公園を軸とした富山駅北周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏、冬の花火大会等の四季折々のイベント ・冬季の公園の魅力向上と賑わいを創出するための、光と音楽を楽しむイベント ・バルイベントや移動販売車の祭典など、食の魅力を活用したイベント など 	<p>観光課</p>
<p>富岩水上ライン利用促進事業 (3,000千円)</p>	<p>県都富山の新たな魅力の創造と地域活性化のために実施する富岩水上ラインについて、新幹線の開業をにらみ、利便性の向上やPRにより、その利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット・ポスター作成 ・5周年記念イベントの開催 など 	<p>観光課</p>
<p>学習支援船の運航事業 (4,750千円)</p>	<p>富岩運河を活用した学習支援船（富岩水上ライン）の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を促進するとともに、富岩運河の魅力向上や活力ある地域づくりの促進を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>富岩水上ライン新艇整備事業 (96,000千円)</p>	<p>北陸新幹線開業により想定される利用者の増加や平日の通常運航など多様なニーズに対応していくため、新艇「fugan（ふがん）」を造船した。</p>	<p>観光課</p>
<p>富岩水上ライン新艇導入PR事業 (6,300千円)</p>	<p>名称の公募や就航式の実施など新艇「fugan」のPR活動を展開し、その利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称公募に係るチラシやWEBサイトの制作 ・各種メディアを通じたPR ・新艇「fugan」就航式 日時 平成27年3月26日 場所 富岩運河環水公園内 富岩水上ライン乗船場付近 	<p>観光課</p>
<p>富岩水上ライン乗船場整備事業 (21,721千円)</p>	<p>乗船者の利便性向上を目的とし、待合所の新設など乗船場の整備を行った。</p>	<p>観光課</p>

<p>観光地活性化モデル事業 (3,000 千円)</p>	<p>宇奈月温泉地域の関係者で構成する「黒部市観光事業活性化委員会」が実施する観光地活性化のためのモデル的な取組みを支援し、宇奈月温泉を活用した滞在型観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 黒部市観光事業活性化委員会 ・主な事業内容 湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月の開催 北陸新幹線開業に向けた PR 事業（トランヴェールへの広告掲載） など 	<p>観光課</p>
<p>観光地区開発事業費 (2,662 千円)</p>	<p>世界文化遺産に指定されており、本県の貴重な観光資源である五箇山地区の合掌造り家屋の茅屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 2 件 	<p>観光課</p>
<p>富山・立山黒部魅力 UP 滞在促進事業 (16,050 千円)</p>	<p>立山室堂ターミナル内に設置した観光案内所に山ガール等のガイドを配置し、立山での楽しみ方や富山県内の周遊・宿泊の案内を行った。併せて、インターネットや旅行雑誌等でこれらの魅力を発信した。</p>	<p>観光課</p>
<p>富山湾鮎と朝ごはん魅力発信事業(8,473 千円)</p>	<p>「富山湾鮎」、「とやまのおいしい朝ごはん」など食の魅力を発信を行い、県内外でのさらなるイメージの定着を図った。また、アンケートや講習会を実施し、サービスの質の向上を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>内山邸文化の魅力再生事業 (24,084 千円)</p>	<p>平成 10 年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、保存修繕を行うとともに、利用促進のための魅力発信事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治 31 年に内山家 12 代松世が建てた土蔵造りの文庫である柳原文庫の復原工事等 	<p>文化振興課</p>
<p>地域文化力向上・活性化支援事業 (3,950 千円)</p>	<p>県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 9 件 	<p>文化振興課</p>
<p>立山博物館管理運営費 (246,092 千円)</p>	<p>立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、3 回の企画展の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。</p>	<p>文化振興課</p>

<p>近代美術館管理運営費 (204,003千円)</p>	<p>20世紀初頭から現在にいたる美術の流れを、世界・日本・富山の3つの視点から展望する近代美術館において、常設展や企画展（6回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。</p>	<p>文化振興課</p>
<p>水墨美術館管理運営費 (185,105千円)</p>	<p>水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展（8回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。</p>	<p>文化振興課</p>
<p>高志の国文学館管理運営費 (202,377千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客にとって、富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展（4回） ・ふるさと文学県民講座等の開催（21回） 	<p>文化振興課</p>
<p>「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業 (1,500千円)</p>	<p>越中富山を舞台として活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発掘などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「義仲・巴御前」をテーマとしたPR映像制作・配信 ・倶利伽羅峠など、県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 	<p>知事政策局</p>
<p>世界遺産登録推進事業 (6,500千円)</p>	<p>「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録推進に資する、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識の醸成と観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等 	<p>知事政策局</p>
<p>黒部市地域観光ギャラリー展示施設整備への支援 (35,000千円)</p>	<p>黒部市がフィールドミュージアムの玄関口として黒部宇奈月温泉駅前に建設した「黒部市地域観光ギャラリー」の展示施設の整備に対し支援した。</p>	<p>県民生活課</p>
<p>とやまの名水魅力発信事業 (4,290千円)</p>	<p>北陸新幹線開業を契機に「とやまの名水」のPRを強化するため、北陸新幹線の車体（W7系）のデザインをモチーフにしたペットボトルを製作し、新幹線開業イベントやDCプレキャンペーン、観光・物産イベントにおいて無料配布した。</p>	<p>県民生活課</p>

<p>イタイイタイ病 資料館管理運営 費 (42,816 千円)</p>	<p>イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、施設展示や情報発信を通じて、その教訓等を後世に継承するための事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り部講話、県民フォーラム ・小学生を対象とした現地ツアー、研究講座 ・資料の収集及び保管 等 	<p>健康課</p>
<p>富山くすりフェ ア開催事業 (2,000 千円)</p>	<p>北陸新幹線開業の機会を捉え、「とやま Week in 東京 2015」(3/2～3/8)と連携し、東京駅周辺、丸の内オアゾにて、「富山のくすり」の歴史や医薬品産業の現状を紹介する展示等を行い、「富山のくすり」の魅力を発信した。</p>	<p>くすり政策 課</p>
<p>うるおいある景 観づくり推進事 業費 (6,869 千円)</p>	<p>県、市町村、県民、事業者の連携と協力により、観光振興にもつながる優れた景観づくりのための施策を推進し、地域の特性を活かした優れた景観の保全及び創造を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの眺望景観を守り育てる県民協働事業の実施 ふるさと眺望点をめぐるスタンプラリー ・景観づくり支援事業の実施 景観づくり事業費補助 ・景観づくりフォーラム 2014 の開催 ・うるおい環境とやま賞の表彰 など 	<p>建築住宅課</p>
<p>立山カルデラ砂 防博物館管理運 営費 (125,529 千円)</p>	<p>立山カルデラの自然・歴史や、100 余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。</p> <p>博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について深く理解できる体験学習会(5 種類のコースで 33 回、1,043 人参加)を実施し、県内外の参加者に P R を行った。</p>	<p>砂防課</p>
<p>海王丸保存活用 事業 (86,635 千円)</p>	<p>文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室、カッター・セイリング教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。</p>	<p>港湾課</p>

(2) 食のブランド化と高付加価値化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「とやま食の匠」の認定・普及 (272 千円)	<p>富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定 4 個人・団体 (計 165 個人・団体) ・講師派遣 34 回 	農産食品課
首都圏等でブランド力の強化 (13,338 千円)	<p>大消費地の首都圏等において食のイベントを開催し、富山の食の魅力を県外にアピールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富山県フェア in 丸の内ハウス」(東京)、「越中富山うまいもんフェア」(名古屋)、民間企業と連携した食のフェアの開催 	農産食品課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (10,000 千円)	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣 (富山産業展示館、平成 26 年 10 月 25 日～26 日) 県内外から約 30,000 人が来場 ・冬の陣 (富山市内、平成 27 年 2 月 7 日～8 日) 県内外からのべ約 12,300 人が参加 <p>「越中料理と地酒を楽しむ会」には東京・中京から 77 名の観光客を誘致</p>	農産食品課
ふるさと認証食品 (E マーク) 制度の普及 (392 千円)	<p>県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品 (E マーク)」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 商品を新規に認証、延べ 323 商品 	農産食品課
地産地消の推進 (9,676 千円)	<p>ポイント制度の実施や交流フェアの開催など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とやまの旬」応援団の募集 (3,625 名) と活動支援 ・第 5 回地産地消県民交流フェアの開催 (直売やステージイベントなどに約 1 万 3 千人が参加) ・県産品購入ポイント制度の実施 (約 1 万 8 千件の応募) 	農産食品課

<p>富山米のブランド力向上 (12,240千円)</p>	<p>首都圏等での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のためのPRなどにより、美味しい富山米のPRとブランド力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ほおぼる幸せ。富山米フェア」の開催 (平成26年10月18日) 有楽町駅前広場 	<p>農産食品課</p>
<p>とやまの農林水産品ブラッシュアップ事業 (12,780千円)</p>	<p>とやまの美味しい農林水産品をブラッシュアップし、来県者が思わず手に取りたくなるお土産づくりを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分類13商品を商品化 	<p>農産食品課</p>
<p>「うまさ一番 富山のさかな」キャンペーン事業 (11,976千円)</p>	<p>県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図るため、その魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページを活用した情報発信 ・富山のさかなを紹介するパンフレットの作成、配布 ・北陸新幹線開業！「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成27年1月13日 ザ・キャピトルホテル東急(東京)) ・北陸新幹線開業！東京スカイツリー「富山のさかな」PRイベントの開催 (平成27年2月6日～12日 東京スカイツリー) ・「富山のさかな」×「長野県産ワイン」ホテルフェアの開催 (平成27年1月～3月 富山 富山エクセルホテル東急 長野 ホテルメトロポリタン長野) ・首都圏メディアの取材誘致 等 	<p>水産漁港課</p>
<p>「越中料理」推進事業 (6,800千円)</p>	<p>新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、観光振興、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「おもてなし『越中料理』」の充実 ・タペストリーの作成、越中料理提供店への配付 ・首都圏の越中料理登録店で越中料理首都圏キャンペーンを実施 	<p>地域振興課</p>

<p>「富山県推奨とやまブランド」推進事業 (13,900 千円)</p>	<p>平成 22 年度に認定した「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定品の魅力を紹介するメディアの取材経費を助成 ・富山空港でのコルトン広告及び展示ブースの設置による P R 	<p>地域振興課</p>
<p>「地域資源」発掘・発信促進事業 (2,000 千円)</p>	<p>全国的に著名なデザイナーと協働し、新たな富山の魅力を、デザインの視点から発掘し、県内外へ発信した。</p>	<p>地域振興課</p>
<p>「明日のとやまブランド」育成支援事業(再掲) (4,992 千円)</p>	<p>事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 品目 7 事業者を新たに選定 	<p>地域振興課</p>
<p>とやまブランド全国発信支援事業(2,000 千円)</p>	<p>業界の枠を超えた複数の業種等で構成された民間グループが実施する、商品等の認知度向上及び富山の地域イメージ確立を図るイベントの開催を支援し、とやまブランドの全国ブランド化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富山の酒とかまぼこフェア 日時 平成 26 年 10 月 5 日 場所 東京交通会館 	<p>地域振興課</p>
<p>富山湾鮭と朝ごはん魅力発信事業 (再掲) (8,473 千円)</p>	<p>「富山湾鮭」、「とやまの美味しい朝ごはん」など食の魅力の発信を行い、県内外でのさらなるイメージの定着を図った。また、アンケートや講習会を実施し、サービスの質の向上を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>富山「山の幸」誘客促進事業 (12,159 千円)</p>	<p>冬から春先の新たな観光資源として、「山の幸」の魅力を掘り起こし、国内外へ発信。</p> <p>ギャップ調査、研修会を実施し、山の幸を使用した「富山の食」の磨き上げを行った。</p>	<p>観光課</p>

(3) 個人観光客の多様なニーズに合わせた観光商品の開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山まるごと旅行商品化促進事業 (22,837千円)	地域の観光資源を魅力ある観光商品とするためのブラッシュアップ及び旅行会社への効果的な販売プロモーションによる富山旅行の商品化、併せて教育旅行誘致のための研修会や旅行会社の招聘・出向宣伝等を行った。	観光課
産業観光魅力創出促進事業 (1,400千円)	産業観光に取り組む県内企業の受入体制整備を促進し、産業観光の魅力アップを図るため、県内企業が行う受入体制整備に対する所要経費の一部を助成した。 ・補助件数 6件	観光課
羽田経由国内旅行商品造成事業 (3,503千円)	航空路線を利用した誘客が見込める九州エリアの旅行会社招聘や観光説明会等を実施した。	観光課
越中富山お土産プロジェクト事業 (2,292千円)	デザインを切り口として統一感を持たせた富山らしい魅力あるお土産商品群づくりを行う「越中富山お土産プロジェクト」の新商品の開発や販路開拓、PRを実施した。 ・ブランド名「越中富山 幸のこわけ」 ・商品数 24企業 28商品	商工企画課
とやま中小企業チャレンジファンド ビジター対応ビジネス支援事業 (17,657千円)	北陸新幹線開業、外航クルーズ船寄港、富山ー台北便増便等交通基盤の拡充に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。 ・採択件数 23件	経営支援課
とやま新事業創造基金 地域資源ファンド事業 (45,216千円)	中小企業者が取り組む、富山ならではの地域資源（産地の技術、農林水産物、観光資源）を活用した新商品開発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力ある特産品の開発・普及を図った。 ・実施件数 16件	経営支援課
とやま新事業創造基金 農商工連携ファンド事業 (22,931千円)	中小企業者と農林漁業者とが連携して行う新商品開発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力ある特産品の開発・普及を図った。 ・実施件数 6件	経営支援課

<p>農商工等連携支援事業（地域資源活用・農商工連携商品PR事業） （1,590千円）</p>	<p>東京のアンテナショップや県内で地域資源活用や農商工連携による新商品等の展示・試食会等を開催し、本県の新たな特産品の普及を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 4回（東京2回、県内2回） 	<p>経営支援課</p>
<p>世界的舞台芸術拠点づくり推進費 （120,564千円）</p>	<p>「舞台芸術特区 TOGA」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界演劇祭「利賀サマー・シーズン2014」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育 	<p>文化振興課</p>
<p>とやま帰農塾推進事業 （6,669千円）</p>	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、講座として農林業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流人口の拡大、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま帰農塾の開講（8市町12ヶ所 全12講座） ・三大都市圏等へのPR 	<p>農村振興課</p>
<p>とやま夏期大学の開催 （4,000千円）</p>	<p>富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」を開催し、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけとして、今後の観光振興や交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成26年8月29日～9月1日 ・開催地 立山国際ホテル 	<p>地域振興課</p>

(4) 県内周遊の促進、近隣県を含む広域ルートの開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山・岐阜新旅行商品造成促進事業 (1,378千円)	<p>北陸新幹線開業にあわせて、両県を周遊する旅行商品等を造成し、首都圏から北陸新幹線を活用した両県への誘客の促進を図った。</p> <p>下記のとおり、造成した旅行商品を会員向け旅行情報誌へ掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブツーリズム日本全国春の旅 ・タカシマヤサロン2月号 	観光課
富山県・長野県連携広域観光事業(6,312千円)	<p>北陸新幹線開業を見据え、首都圏で両県の魅力を幅広くPRするため、都内百貨店で観光物産展を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富山県・長野県の物産と観光展」 <p>期間 平成27年2月24日～3月2日</p> <p>会場 高島屋新宿店</p>	観光課
観光圏推進事業 (1,505千円)	<p>県内の観光圏が実施する事業を支援し、周遊・滞在型観光の促進を図った。</p> <p>【富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の観光PR事業や北陸新幹線開業イベントへの支援 <p>【越中・飛騨観光圏】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内連泊誘客事業への支援 	観光課
「ぶり・ノーベル街道ウォーク」負担金 (1,000千円)	<p>ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道41号の沿線をウォークし、各地域の魅力を発見してもらう「ぶり・ノーベル街道ウォークツアー2014」を支援し、ノーベル街道観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年6月28日(富山市岩瀬地区) ・平成26年10月25日(飛騨市古川町) ・平成26年11月2日(富山市細入地区) 	観光課
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000千円)	<p>北陸新幹線の開業を見据え、北陸三県及びJRと連携して北陸観光キャンペーン事業を展開し、北陸地域における広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR3社キャンペーンの実施 ・観光素材説明会の開催 ・観光情報誌「北陸物語」の発行など 	観光課

<p>北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500千円)</p>	<p>北陸への観光誘客の増大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟からなる協議会を組織し、共同での観光PRなど観光情報の発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など 	<p>観光課</p>
<p>中部広域観光推進協議会負担金 (3,000千円)</p>	<p>中部北陸9県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイレベルミッションの派遣（マレーシア） ・国際観光振興事業の展開 など 	<p>観光課</p>
<p>飛越能経済産業観光都市懇談会負担金 (100千円)</p>	<p>飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行雑誌でのPR ・イベント相互交流事業 など 	<p>観光課</p>
<p>立山黒部観光宣伝協議会負担金 (2,500千円)</p>	<p>富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・三大都市圏におけるPR等の宣伝活動 など 	<p>観光課</p>
<p>立山黒部アルペンルート除雪事業 (12,000千円)</p>	<p>本県の代表的な観光地であり、長野県との広域観光にも大きな役割を果たす立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。</p>	<p>観光課</p>
<p>富山空港利用促進事業 (4,050千円)</p>	<p>富山空港を利用して来県する団体旅行者の国内移動のためのバスを運行する県内バス会社に対して助成し、富山空港を利用した広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 国際線 78件（78台） 国内線 19件（19台） 	<p>総合交通政策室</p>
<p>富山湾岸サイクリングコース整備事業 (82,876千円)</p>	<p>富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟を機に、自転車に乗りながら美しい景観など富山湾の魅力を体験できる「富山湾岸サイクリングコース」の整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーターライン（ブルーライン）の整備 ・距離標等の設置（5km毎及び主要施設までの距離） 	<p>道路課 地域振興課 （地方創生推進室）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・コース分岐点案内看板の設置 ・全体コース案内看板の設置(主要施設など) ・サイクル・カフェ、サイクルステーションの整備 (標示看板、備品整備) ・とやまサイクリング MAP の更新 <p>(作成部数：日本語版、英語版、台湾語版 計1万部)</p>	
<p>環日本海クルーズ推進協議会負担金 (1,000千円)</p>	<p>小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港が運営する「環日本海クルーズ推進協議会」と連携し、環日本海クルーズの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外船社幹部の招聘 ・パンフレットの作成 ・クルーズ見本市への共同出展 (マイアミ) 等 	<p>港湾課</p>

(5) 冬季の魅力創出と通年観光

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
<p>「うまさ一番 富山のさかな」 キャンペーン事業 (再掲) (11,976千円)</p>	<p>県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図るため、その魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページを活用した情報発信 ・富山のさかなを紹介するパンフレットの作成、配布 ・北陸新幹線開業！「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成27年1月13日 ザ・キャピトルホテル東急(東京)) ・北陸新幹線開業！東京スカイツリー「富山のさかな」PRイベントの開催 (平成27年2月6日～12日 東京スカイツリー) ・「富山のさかな」×「長野県産ワイン」ホテルフェアの開催 (平成27年1月～3月 富山 富山エクセルホテル東急 長野 ホテルメトロポリタン長野) ・首都圏メディアの取材誘致 等 	<p>水産漁港課</p>
<p>「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (再掲) (10,000千円)</p>	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣(富山産業展示館、平成26年10月25日～26日) 県内外から約30,000人が来場 ・冬の陣(富山市内、平成27年2月7日～8日) 県内外からのべ約12,300人が参加 「越中料理と地酒を楽しむ会」には東京・中京から77名の観光客を誘致 	<p>農産食品課</p>

<p>「越中料理」推進事業 (再掲) (6,800 千円)</p>	<p>新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、観光振興、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「おもてなし『越中料理』」の充実 ・タペストリーの作成、越中料理提供店への配付 ・首都圏の越中料理登録店で越中料理首都圏キャンペーンを実施 	<p>地域振興課</p>
<p>富山湾鮭と朝ごはん魅力発信事業 (再掲) (8,473 千円)</p>	<p>「富山湾鮭」、「とやまの美味しい朝ごはん」など食の魅力の発信を行い、県内外でのさらなるイメージの定着を図った。また、アンケートや講習会を実施し、サービスの質の向上を図った。</p>	<p>観光課</p>

2 戦略的なPR

(1) 大都市圏等に向けた戦略的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
JRタイアップ 商品造成・広告 事業 (44,607千円)	<p>JR各社とのタイアップにより、富山県へのJR利用旅行商品を充実させるとともに、広告宣伝や旅行会社販売員の招聘ツアー等を通じ、旅行商品の販売を促進し、観光誘客を図った。</p> <p>【首都圏でのタイアップ（JR東日本）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR東京駅での大型ビジョン等を活用した大規模な広告展開 展開期間：平成26年6月1日～7月6日 ・大人の休日倶楽部モニターツアー ・びゅう旅行商品「立山黒部&富山」の造成等 <p>【関西圏・中京圏でのタイアップ（JR西日本・東海）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手旅行会社における「富山・飛騨世界遺産パス」を活用した旅行商品の造成 ・駅デジタルサイネージ・車内中吊りポスター等の掲出 ・関西圏の大手旅行会社販売員の招聘ツアー 	観光課
「富山とりっぷ」誘客促進事業 (7,887千円)	JR東日本とのタイアップにより富山県単独の旅行商品パンフレット「富山とりっぷ」を造成するとともに、店舗販売員を招聘し、本県への誘客促進を図った。	観光課
北陸デスティネーションキャンペーン推進事業 (24,886千円)	平成27年秋の大型観光キャンペーン「北陸デスティネーションキャンペーン」に向けた準備会議として開催される全国宣伝販売促進会議等において本県の観光PRを展開し、観光誘客を図った。	観光課
「いきいき富山館」管理運営事業 (70,335千円)	<p>東京アンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナー（物産館）及び展示コーナー（情報館）で企画展や観光・物産キャンペーン等を開催して、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種特産品フェア、実演・試食販売 ・観光展、写真展、各種観光PR など 	観光課

<p>富山県の物産と観光展の開催 (25,610 千円)</p>	<p>大都市圏において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉（平成 26 年 12 月 10 日～15 日） 伊勢丹浦和店 ・ 名古屋（平成 27 年 1 月 27 日～2 月 2 日） 丸栄栄店 (物産展サテライト会場として桜通りカフェにて「とやまフェア」を開催) (平成 27 年 1 月 13 日～29 日)) ・ 東京（平成 27 年 2 月 5 日～11 日） 東急吉祥寺店 	<p>観光課</p>
<p>北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000 千円)</p>	<p>北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施し、本県への誘客や特産品販売の拡大を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>新旅行造成市町村タイアップ事業 (17,000 千円)</p>	<p>県内市町と連携して、観光地や施設の魅力を体験できるプログラムを造成し、首都圏等において PR を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験プログラム PR 冊子の製作・配布（都内トラベルカフェ、都営地下鉄駅など） ・ 代官山 T-SITE や自由が丘での富山マーケット等の開催 ・ 旅行情報誌や宿泊サイトへの広告掲出 	<p>観光課</p>
<p>「富山で休もう。」戦略的 PR 事業 (20,452 千円)</p>	<p>平成 27 年春の北陸新幹線開業及び同年秋の北陸デステーションキャンペーンを見据え、富山旅行の魅力の認知度を高めるとともに、観光関係者の機運の醸成を図るため、官民一体となった観光キャンペーンを展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中吊り広告の掲出 東急線（東横線、田園調布線、大井町線、目黒線、多摩川線、池上線） 期間：平成 26 年 9 月 24 日～30 日 ・ JTB 首都圏トラベルゲート富山県プロモーション 期間：平成 26 年 9 月 15 日～10 月 12 日 会場：JTB 首都圏のトラベルゲート 10 店舗 ・ 宿泊予約サイトへのキャンペーン広告 期間：平成 26 年 9 月 29 日～10 月 26 日 	<p>観光課</p>

<p>「とやま Week in 東京 2015」実施事業 (68,000 千円)</p>	<p>平成 27 年 3 月の北陸新幹線開業の直前に、東京丸の内で 1 週間にわたり、富山県の食、伝統文化、自然などの多彩な魅力や新幹線開業を総合的に発信する観光 P R イベントを開催した。</p> <p>開催期間：平成 27 年 3 月 2 日～8 日 開催場所：東京都千代田区丸の内 JP タワー「KITTE」</p>	<p>観光課</p>
<p>首都圏観光 PR 「ふるさと祭り東京」出展事業 (18,000 千円)</p>	<p>「ふるさと祭り東京 2015」へ北陸三県共同で出展し、北陸の魅力を紹介するとともに、富山県単独でもブースを出展し、富山の食・祭り・伝統文化等の PR を行った。</p> <p>開催期間 平成 27 年 1 月 9 日～18 日 開催場所 東京ドーム</p>	<p>観光課</p>
<p>阪急沿線とやまの魅力発信事業 (13,731 千円)</p>	<p>関西圏の中で富裕層が多い阪急線沿線で観光物産展を開催し、北陸新幹線開業後を見据えた関西方面からの誘客を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光物産展の開催 開催期間：平成 27 年 1 月 24 日、25 日 開催場所：阪急西宮ガーデンズ ・交通広告の実施 阪急線中吊り広告（全線） 掲出期間：平成 27 年 1 月 19 日～25 日 阪急梅田駅～阪急百貨店間大型壁面広告 掲出期間：平成 27 年 1 月 23 日～25 日 阪急百貨店前デジタルサイネージ 掲出期間：平成 27 年 1 月 19 日～25 日 	<p>観光課</p>
<p>「富山県推奨とやまブランド」推進事業（再掲） (13,900 千円)</p>	<p>平成 22 年度に認定した「富山県推奨とやまブランド」の魅力を紹介することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定品の魅力を紹介するメディアの取材経費を助成 ・富山空港でのコルトン広告及び展示ブースの設置による P R 	<p>地域振興課</p>
<p>「地域資源」発掘・発信促進事業（再掲） (2,000 千円)</p>	<p>全国的に著名なデザイナーと協働し、新たな富山の魅力をデザインの視点から発掘し、県内外へ発信した。</p>	<p>地域振興課</p>

<p>丸の内ビジョン 富山県PR事業 (6,264千円)</p>	<p>東京駅周辺の丸の内エリアビルのハイビジョン映像ネットワークを活用して、富山県内のイベントや観光地を紹介する映像を放映し、首都圏での本県の認知度向上、イメージアップ及び誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ月替わりで15タイトルを放映 	<p>広報課</p>
<p>首都圏等での食のブランド力の強化(再掲) (13,338千円)</p>	<p>大消費地の首都圏等において食のイベントを開催し、富山の食の魅力を県外にアピールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富山県フェア in 丸の内ハウス」(東京)、「越中富山うまいもんフェア」(名古屋)、民間企業と連携した食のフェアの開催 	<p>農産食品課</p>
<p>「うまさ一番富山のさかな」キャンペーン事業(再掲) (11,976千円)</p>	<p>首都圏に対して、富山県の水産物と観光・物産等の魅力をPRし、本県の食の魅力を認知度向上と首都圏からの誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線開業!「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成27年1月13日 ザ・キャピトルホテル東急(東京)) ・北陸新幹線開業!東京スカイツリー「富山のさかな」PRイベントの開催 (平成27年2月6日~12日 東京スカイツリー) ・首都圏メディアの取材誘致 等 	<p>水産漁港課</p>
<p>「富山のくすり」販路拡大事業(800千円)</p>	<p>(一社)富山県薬業連合会が東京アンテナショップにおいて開催した「出会いが効く越中富山のくすりフェア」及び名古屋丸栄百貨店での県物産展へのくすりブース出展を支援し、大都市圏において「くすりの富山」の魅力を発信した。</p> <p>日時:①平成26年11月25日~11月30日 ②平成27年1月29日~2月2日 ③平成27年2月28日~3月2日</p> <p>場所:東京アンテナショップ(いきいき富山館)①③ 名古屋丸栄百貨店 ②</p>	<p>くすり政策課</p>
<p>北陸新幹線開業PR及び冠イベント等開催支援事業 (18,313千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業に向け、専用ホームページの運営、冠イベント等への活動支援、マスコットによる出向PRを行い、県民機運の醸成を図るとともに、県内外への新幹線開業の周知を図った。</p>	<p>知事政策局</p>

<p>元気とやま応援 寄附金 (1,990 千円)</p>	<p>一定額以上のふるさと納税（寄附）者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源のPRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの作成、配布 ・HPでのPR ・寄附金額に応じ、地酒、ほたるいかセット等を贈呈 <p>【H26年度：申込者数 256人、申込金額 14,155千円】</p>	<p>税務課</p>
---------------------------------------	--	------------

(2) 多様な個人客に向けた的確な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光パンフレット 等作成 (5,389千円)	県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「富山観光マップ」を作成し、観光誘客の促進を図った。	観光課
「ロカルちゃ！富山」観光発信事業 (5,990千円)	富山の魅力を深く掘り下げたテーマ別観光情報誌「ロカルちゃ！富山」を発行し、個人旅行者の多様なニーズに対応した観光情報を発信した。 ・発行回数 3回（9月・12月・2月） ・発行部数 各20,000部	観光課
「パノラマ・キット富山」新聞発行事業費 (3,500千円)	首都圏を中心に発行する「パノラマ・キット富山」新聞（26年4月発行）の制作を支援し、首都圏等からの観光誘客の促進や本県の認知度向上を図った。 ・発行部数 135万部 ・発行地域 首都圏、富山県、石川県	観光課
観光客動態調査事業 (3,791千円)	観光入込客数統計の基礎データとして、観光客の平均訪問地点数及び観光消費額単価等を把握する「観光地点パラメータ調査」を実施した。 ・調査期間 四半期ごとに1日（年間合計4回） ・調査地点 県内主要観光地10地点 ・調査方法 観光客に対する面接調査	観光課
観光ホームページ等更新事業 (1,000千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」の内容の充実等により、富山県の魅力を国内外にPRし、観光誘客の促進を図った。 ・観光ホームページのサーバー運営管理 ・既存ページの修正・情報追加 ・セキュリティ対策 など	観光課

<p>観光キャンペーン 負担金、観光振興 事業補助金 (29,348 千円)</p>	<p>(公社) 富山県観光連盟が実施する誘致宣伝・普及活動 や観光振興の事業等への負担金及び補助金の交付。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者向け観光PR事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・旅行代理店向け観光PR事業 (エージェント等への出向宣伝、観光説明会 など) ・観光PR資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など) 	<p>観光課</p>
<p>とやま「次世代」 観光魅力発信事業 (5,083 千円)</p>	<p>次代を担う高校生が、若い感性により、「とやまの魅力」 を再発見し、「おもてなし」の意識の向上を図るため、観 光パンフレット等を作成するとともに、首都圏での誘客宣 伝活動を行った。</p>	<p>観光課</p>
<p>観光季刊誌「ねま るちゃ」発刊事業 (24,280 千円)</p>	<p>旬の観光情報や食・体験・イベント等をPRする観光情 報誌「ねまるちゃ」を発行し、JR首都圏各駅に配架する など大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信 した。</p>	<p>観光課</p>
<p>とやま女子旅ガイ ドブック出版促進 事業 (4,000 千円)</p>	<p>北陸新幹線開業のタイミングに合わせ、書店等でも富山 の情報収集が可能になるよう、(株)昭文社とタイアップして 旅行ガイドブックを発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ことりっぷ富山」112ページ 800円(税別) ・全国主要書店で取扱い 	<p>観光課</p>
<p>列車時刻表冊子観 光PR事業 (6,500 千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業に合わせ、JTB時刻表(2015年3月号) の巻頭カラーページに本県観光情報を掲載し、誘客を図っ た。あわせて県内二次交通の時刻表を掲載した小冊子を旅 行者向けに作成・配布し、富山の旅をサポートした。</p>	<p>観光課</p>
<p>トヤマ・ジャス ト・ナウ (2,346 千円)</p>	<p>県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームペ ージ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載するとともに、更 新情報をメールマガジンで配信し、富山の最新情報をタイ ムリーに情報発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に1つの記事をホームページ、メールマガ ジンで配信 ・約7,500人に配信(平成27年3月現在) 	<p>広報課</p>

(3) メディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国内メディア招聘事業 (1,960千円)	<p>全国規模の新聞・テレビ・雑誌等の編集者等を招聘し、取材記事の掲載等を働きかけることにより、パブリシティを強化し、本県への誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BS-TBS「美しい日本に出会う旅」、雑誌「男の隠れ家」など 	観光課
映画を活用した観光PR事業 (5,500千円)	<p>本県が舞台やロケ地となる映画の誘致を進めるとともに、これらの映画を活用した観光PRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「春を背負って」のPRイベント支援 ・映画「アオハライド」の撮影支援、ロケ地PR ・インド映画「JUMBO 3D」のロケ誘致、撮影支援等 	観光課
全国PR事業 (613千円)	<p>共同通信PRワイヤーを活用したリリース配信により、全国に向けて富山県内のイベントや首都圏で開催するイベントの情報等を発信し、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配信本数 16本 	広報課
首都圏メディアPR事業 (8,295千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信等により、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏メディアへのリリース原稿の作成、配信 ・リリース事項に関するプロモーション活動 ・首都圏メディアとのリレーション構築 	広報課
首都圏メディア取材誘致事業 (744千円)	<p>首都圏及び全国に発信すべき本県の重点広報事項（とやまブランド、特色ある施策・事業等）について、大きな露出効果が期待されるメディア掲載企画等に対して協賛又は本県への取材誘致を行い、本県のイメージ・認知度の向上を図った。</p>	広報課
「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業 (1,500千円)	<p>越中富山を舞台として活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発掘などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「義仲・巴御前」をテーマとしたPR映像の制作・配信 ・倶利伽羅峠など、県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 	知事政策局

<p>首都圏における CM放送等PR 事業 (24,992千円)</p>	<p>平成25年度に制作した「新幹線開業PR用CM」を活用し、首都圏におけるテレビスポットCMの放送、映画「春を背負って」と連携したシネアドを放映することで、新幹線開業PRを図った。</p>	<p>知事政策局</p>
<p>北陸新幹線開業 ミニ番組制作・ 放映事業 (67,998千円)</p>	<p>首都圏における新幹線開業PRを効果的に情報発信するため、ミニ番組を制作し、首都圏で放映。番組には本県出身者である立川志の輔師匠のほか、本県にゆかりのある著名人に出演いただくことで、魅力を広くPR、誘客の促進を図った。</p>	<p>知事政策局</p>

(4) 官民一体、近隣県と連携したPRの推進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「鉄軌道王国 とやま」全国発信事業 (14,277千円)	鉄道博物館（さいたま市）での企画展や県内向けシンポジウムの開催など、県内鉄軌道の魅力を全国に発信した。	総合交通政策室
富山・岐阜新旅行商品造成促進事業（再掲） (1,378千円)	北陸新幹線開業にあわせて、両県を周遊する旅行商品等を造成し、首都圏から北陸新幹線を活用した両県への誘客の促進を図った。 下記のとおり、造成した旅行商品を会員向け旅行情報誌へ掲載した。 ・クラブツーリズム日本全国春の旅 ・タカシマヤサロン2月号	観光課
富山県・長野県連携広域観光事業（再掲） (6,312千円)	北陸新幹線開業を見据え、首都圏で両県の魅力を幅広くPRするため、都内百貨店で観光物産展を開催した。 ・「富山県・長野県の物産と観光展」 期間 平成27年2月24日～3月2日 会場 高島屋新宿店	観光課
北陸三県誘客促進連携協議会負担金（再掲） (3,000千円)	北陸新幹線の開業を見据え、北陸三県及びJRと連携して北陸観光キャンペーン事業を展開し、北陸地域の広域観光の促進を図った。 ・JR3社キャンペーンの実施 ・観光素材説明会の開催 ・観光情報誌「北陸物語」の発行など	観光課
北陸広域観光推進協議会負担金（再掲） (2,500千円)	北陸への観光誘客の増大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟からなる協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光課

中部広域観光推進協議会負担金 (再掲) (3,000千円)	中部北陸9県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・ハイレベルミッションの派遣(マレーシア) ・国際観光振興事業の展開 など	観光課
飛越能経済産業観光都市懇談会負担金 (再掲) (100千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・旅行雑誌でのPR ・イベント相互交流事業 など	観光課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (再掲) (2,500千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・三大都市圏におけるPR等の宣伝活動 など	観光課
(公社)日本観光振興協会観光情報システム負担金 (200千円)	市町村からの情報提供等により観光情報を整備するとともに、ホームページ「全国旅そうだん」を通じ発信した。	観光課
「ぶり・ノーベル街道ウォーク」負担金 (再掲) (1,000千円)	ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道41号の沿線をウォークし、各地域の魅力を発見してもらう「ぶり・ノーベル街道ウォークツアー 2014」を支援し、ノーベル街道観光の振興を図った。 ・平成26年6月28日(富山市岩瀬地区) ・平成26年10月25日(飛騨市古川町) ・平成26年11月2日(富山市細入地区)	観光課
県内スポーツチームと連携した観光PR事業 (250千円)	プロスポーツチーム(富山グラウジーズ)と連携し、選手のユニフォーム等に県の観光ロゴマークを表示してもらうことにより、対外試合等を通じた観光PRを図った。	観光課

<p>プロスポーツ 連携観光キャ ンペーン事業 (900 千円)</p>	<p>県内プロスポーツチームの県外での試合会場等において、観光キャンペーンや特産品の紹介等を実施し、観光PRを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カタールレ富山」1 試合 ・「富山サンダーバーズ」4 試合 	<p>観光課</p>
<p>ディスカバー 北陸プロジェ クトへの参画 (850 千円)</p>	<p>北陸エリアの地域力向上を図り、北陸三県の行政と新聞社が連携して、富山県に出店している料理人・落合務氏のインタビュー（北陸の食の魅力と「食」を通しての地域活性化について提言）を新聞に掲載するなど、「北陸の食」をテーマに事業を実施。</p>	<p>地域振興課</p>
<p>北陸イメージ アップ推進会 議負担金 (1,600 千円)</p>	<p>北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者向けPRツール「北陸物語」（冊子版・Web版）の発行 ・首都圏の交通事業者と連携したイメージアップイベントの実施 ・Facebook「北陸物語」の開設・情報発信 など 	<p>地域振興課</p>
<p>環日本海クル ーズ推進協議 会負担金 (再掲) (1,000 千円)</p>	<p>小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港が運営する「環日本海クルーズ推進協議会」と連携し、環日本海クルーズの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外船社幹部の招聘 ・パンフレットの作成 ・クルーズ見本市への共同出展（マイアミ）等 	<p>港湾課</p>

3 官民一体、県民こぞってのおもてなし環境の整備

(1) 地域の観光を支える人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来 創造塾事業 (8,308千円)	北陸新幹線開業に向けて、①おもてなし力の向上、② お客様に満足いただける観光ガイドの育成、③魅力ある 観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 75名 (内訳) 観光おもてなし入門コース 31名 観光ガイドコース(中級専攻) 16名 〃 (上級専攻) 12名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 5名 〃 (観光地域リーダー専攻) 11名	観光課
観光地域リニュー ーアル支援事業 補助金 (1,466千円)	専門家による指導により、個性ある観光地域や観光施 設をつくる取り組みを支援し、観光地域のリニューアル を図った。 ・補助件数 3件	観光課
観光ガイド等魅 力アップ支援事 業 (1,313千円)	観光関係団体や観光ボランティアガイドグループ等 が実施するおもてなし研修等に対して支援し、おもてな し力の向上を図った。 ・研修助成 3件 ・観光ガイド魅力アップ助成 5件	観光課
観光振興・地域 活性化マネー ジャーの配置 (12,000千円)	専門的な見地から観光振興事業等を検討・推進する観 光振興・地域活性化マネージャーの黒部市への配置及び その活動について支援し、宇奈月温泉を活用した観光振 興及び地域活性化を推進した。	観光課
おもてなしタク シードライバー 養成事業 (1,789千円)	タクシー利用者に対して、丁寧できめ細やかなサービ スを提供できる優れたタクシー乗務員を表彰して、タク シー乗務員の接遇やサービス意識の向上を図った。	観光課

(2) 観光産業及び周辺産業の振興・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まちの逸品PR キャンペーン事業 (16,877千円)	まちの逸品ブラッシュアップ事業で選定された商品の認知度向上のため首都圏等においてPRキャンペーンを実施した。	商業まちづくり課
とやまのカラー フード発信事業 (9,355千円)	首都圏等における食のイベント等で富山県の食の魅力をPRするため、色合いに特徴ある県内のご当地食を「とやまのカラーフード」として選定した。	商業まちづくり課
新幹線開業対策 商店街魅力向上 事業 (7,391千円)	観光施設等との回遊性向上のための施設整備や地域資源を活用したイベント、空き店舗対策等商店街の魅力を向上させる取組みを支援した。	商業まちづくり課
商店街おもてなし 研修事業 (713千円)	県内商店街等のおもてなし力の向上を図るため、商店街の店主を対象に、首都圏の有名店から接客研修担当者を講師として招き、接客対応などを学ぶ研修会を支援した。	商業まちづくり課
とやま起業未来 塾事業 (19,691千円)	「夢」「情熱」「志」を持った創業者、世界に羽ばたく企業人を育成する「とやま起業未来塾」を開講し、産業の活性化による活力ある県づくりを進めることにより、誘客促進等につなげた。 ・修了者数 22名	経営支援課
とやま伝統工芸 PR展示会開催 事業 (7,770千円)	ファッション、アートの最先端地であるニューヨークで、富山県の長い歴史に培われ、伝統的な技術・技法を有する優れた伝統工芸品をPRする展示会を開催することにより、本県の伝統産業に従事する企業の海外販路開拓を支援した。	経営支援課

<p>とやまの資源発掘ブラッシュアップ事業 (1,337千円)</p>	<p>地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用し、新商品や新サービス開発などの事業展開に取り組もうとしている中小企業及び、農林水産業や商工業等の枠を超えた連携による効果的な取組みの掘り起こしや、地域資源を活用する取組みの事業化へ向けたサポートを実施した。</p> <p>（補助先：公益財団法人富山県新世紀産業機構）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘実績 7件 ・ブラッシュアップ実績 14社 計35回 	<p>経営支援課</p>
<p>富山県商業・サービス業活性化資金新幹線開業対策枠融資 (1,500,000千円)</p>	<p>北陸新幹線開業に向けて、誘客促進や県の魅力発信のための店舗の出店・改装を行う中小企業者（飲食業、小売業、サービス業）に対し、融資を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資件数 新規分 3件 	<p>経営支援課</p>
<p>旅館施設近代化等促進事業 (48,988千円)</p>	<p>宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対して融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）し、宿泊施設の誘客力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資件数 継続分 5件、新規分 1件 	<p>観光課</p>
<p>（公社）日本観光振興協会負担金 (718千円)</p>	<p>国や地方自治体、広域観光組織、観光協会、企業や業界団体、他産業等も含めた幅広い連携を図り、観光の持つ力の重要性を広く周知するとともに、魅力ある観光地域づくり、観光人材の育成、観光産業の活性化、旅行需要の拡大等の取組みを行った。</p>	<p>観光課</p>
<p>（一財）富山観光物産センター運営費等補助金 (26,976千円)</p>	<p>富山の観光情報や文化・特産品の発信拠点として富山の魅力を県内外に広くアピールする（一財）富山観光物産センターの運営に対し補助を行った。</p>	<p>観光課</p>
<p>（公社）富山県観光連盟運営費補助金 (8,500千円)</p>	<p>富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む（公社）富山県観光連盟の運営に対し補助を行った。</p>	<p>観光課</p>

(3) 県民の意識醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ハローとやま☆ 貼ろう事業 (1,267千円)	<p>富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 増刷 3,750部(5種類) 新作 1,500部(2種類) 	観光課
とやま「次世代」 観光魅力発信事業(再掲) (5,083千円)	<p>次代を担う高校生が、若い感性により、「とやまの魅力」を再発見し、「おもてなし」の意識の向上を図るため、観光パンフレット等を作成するとともに、首都圏での誘客宣伝活動を行った。</p>	観光課
飛越地域等との 交流推進事業 (536千円)	<p>飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地域振興を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、この地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、祭りや伝承、匠の技や味等のPR活動を全国や海外に向け展開した。</p> <p>(協議会の主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやホームページによるPR ・飛越地域内で交流・連携活動を行う民間団体等への助成(1件) ・飛越地域への海外誘客の促進 	知事政策局
新幹線戦略とやま 県民会議の運営(2,080千円)	<p>北陸新幹線の開業効果を最大限に活かし、観光の振興や交流の促進、産業の振興、賑わいの創出につながる対策が効果的に展開されるよう、官民の代表者で構成される「新幹線戦略とやま県民会議」において、戦略の協議・決定、推進を図った。</p>	知事政策局
北陸新幹線開業 PR及び冠イベント等 開催支援事業(再掲) (18,313千円)	<p>北陸新幹線の開業に向け、専用ホームページの運営、冠イベント等への活動支援、マスコットによる出向PRを行い、県民機運の醸成を図るとともに、県内外への新幹線開業の周知を図った。</p>	知事政策局

<p>広報紙の制作・配布事業 (6,480千円)</p>	<p>北陸新幹線開業日におけるイベント等の紹介、開業に向けたおもてなし向上に関する事例等の紹介など北陸新幹線開業に対する理解や関心を深めてもらうとともに、県民機運の醸成を図るため広報紙を制作し、新聞折込みによる全戸配布を行った。</p>	<p>知事政策局</p>
<p>みんなが実践！おもてなし力向上・普及事業 (10,055千円)</p>	<p>北陸新幹線開業後、本県を訪れる方へのおもてなし活動が県民により実践されるよう講座を開催した。 ・H26.4～H27.3 28回開催</p>	<p>知事政策局</p>
<p>世界遺産登録推進事業（再掲） (6,500千円)</p>	<p>「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録推進に資する、民間団体が行う事業やイベントを支援し、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。 ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等</p>	<p>知事政策局</p>
<p>ふるさと魅力発見PR事業 (5,144千円)</p>	<p>富山の自然、歴史や文化などを学ぶ検定「越中富山ふるさとチャレンジ」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見し、誇りをもって全国にPRする意識の醸成を図った。 ・受検者数 972名</p>	<p>地域振興課</p>
<p>富山ふるさとマスター派遣事業 (1,029千円)</p>	<p>学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等にて、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等（富山ふるさとマスター）を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。 ・富山ふるさとマスター登録者数 15人 ・派遣回数 29回</p>	<p>地域振興課</p>
<p>歴史と文化が薫るまちづくりモデル支援事業（再掲） (93,580千円)</p>	<p>歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、推進計画の策定や同計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。 ・湧水の恵みが溢れる交流の里づくり（入善町） ・鰻絵と街道がつなぐ過去・現在・未来（射水市） ・万葉の風土に寺内町の風情があふれ、みなと町の香り漂う歴史と文化のまち（高岡市） ・棟方志功が暮らした「福光」、巴御前終焉の地「福満」まちづくり（南砺市） ほか6件</p>	<p>地域振興課</p>

<p>水辺のまちづくり推進事業 (再掲) (900 千円)</p>	<p>「水の王国とやま」の豊かな水資源を活かした、水辺のまちづくりに取り組む市町村・市民活動を支援し、地域の新たな魅力の創出、観光振興、地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千保川親水・楽水プロジェクト事業（高岡市） ほか1件 	<p>地域振興課</p>
<p>ふるさと資源パワーアップ事業 (再掲) (4,892 千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業を見据え、地域住民が地域資源を活用し、主体的に取り組む活動等を支援し、地域の新たな魅力の創出、観光振興、地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大伴家持上京の旅 ほか10件 	<p>地域振興課</p>
<p>「とやま食の匠」の認定・普及 (再掲) (272 千円)</p>	<p>富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理について、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定 4個人・団体（計 165個人・団体） ・講師派遣 34回 	<p>農産食品課</p>
<p>高志の国文学館管理運営費 (再掲) (202,377 千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客にとって、富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展（4回） ・ふるさと文学県民講座等の開催（21回） 	<p>文化振興課</p>
<p>新幹線開業県民協働事業 (13,581 千円)</p>	<p>新幹線開業を間近に控え、県民が行う県（地域）の魅力の創造・発信や機運の醸成を図る事業に対して、広く支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 30件 	<p>男女参画・県民協働課</p>

(4) 受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山駅観光案内所等整備運営事業 (8,469千円)	本県の玄関口となる富山駅の構内に県と富山市が共同で新しい観光案内所を整備するとともに、仮駅舎内の観光案内所で富山県全域の観光案内や情報発信を行うことにより、観光客の利便性の向上を図った。	観光課
Wi-Fi等整備支援事業 (1,664千円)	県内のホテル旅館等の観光施設が行う外国人観光客の受入体制整備(無線LANの整備)を支援した。 ・補助件数 8件	観光課
観光地誘導案内デザイン統一化促進事業 (2,339千円)	観光客の入り込み増加や利便性の確保を図るため、市町村が行う観光地誘導案内標識の多言語化を支援した。 ・外国語観光サイン整備 補助件数 新規4件 改修5件	観光課
宇奈月国際会館運営費補助金 (19,500千円)	本県を代表する観光地の一つである宇奈月温泉に立地するコンベンション施設「宇奈月国際会館」の運営費の一部を助成した。	観光課
地域団体清掃美化活動推進事業 (2,100千円)	新幹線開業に向け、来県される方をよりきれいな富山県にお迎えするため、駅や観光地等で行う清掃美化活動の運営支援及び普及啓発を行った。	環境政策課
自然公園等整備事業等 (96,472千円)	わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等を整備するとともに、ラムサール条約登録湿地である立山弥陀ヶ原・大日平のモデルコースを記載した多言語版のパンフレットを製作し、観光客の利便性の向上などを図った。	自然保護課
有峰森林文化村推進費 (49,281千円)	豊かな森林を有し、多くの人々が訪れる風光明媚な有峰において、有峰森林文化村公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、利用者が安心して施設利用等ができるよう施設整備(保守点検)等に努めた。	森林政策課

<p>わくわく観光標識整備事業 (1,810 千円)</p>	<p>主要観光地付近の県管理道路に、観光地の写真を載せた道路案内標識を設置して、観光客の利便性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真付き案内標識設置数 1 基 	<p>道路課</p>
<p>とやまの名所再発見案内標識整備事業 (16,200 千円)</p>	<p>新幹線開業を契機に、本県を訪れる多くの観光客を当初は立寄る予定になかった施設（隠れた名所）へ誘導することによって、更なる魅力を実感してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅等の交通拠点と主要な観光地を結ぶ幹線道路沿いの 14 施設 	<p>道路課</p>
<p>外国船入港に係る歓迎セレモニーへの支援 (1,500 千円)</p>	<p>港湾振興会等が開催する入港歓迎式典等に係る費用の一部を助成した。</p>	<p>港湾課</p>
<p>県立都市公園の整備・改修 (1,193,853 千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 <ul style="list-style-type: none"> 富岩運河環水公園（ライトアップ） 県民公園 太閤山ランド （プール広場の舗装改修 等） 総合運動公園（屋内グラウンド人工芝化 等） 常願寺川公園（サッカー広場改修） 岩瀬スポーツ公園（広場舗装改修 等） 五福公園（野球場改修 等） 空港スポーツ緑地 （陸上競技場インフィールド改修 等） 県庁前公園（園路改修 等） 	<p>都市計画課</p>
<p>県立都市公園の維持管理 (958,254 千円)</p>	<p>県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園 <ul style="list-style-type: none"> 富岩運河環水公園、県民公園 太閤山ランド、総合運動公園、常願寺川公園、県民公園 新港の森、岩瀬スポーツ公園、五福公園、空港スポーツ緑地、県庁前公園 	<p>都市計画課 環境政策課</p>

<p>新幹線駅周辺花 いっぱいおもて なし事業 (6,993 千円)</p>	<p>北陸新幹線開業並びに平成 29 年春の全国植樹祭開催等により、今後ますますの観光客の増加が見込まれることから、県花であるチューリップや富山ゆかりのサクラ等で新幹線駅構内を華やかに彩り、観光客を花と緑でおもてなしした。</p>	<p>森林政策課</p>
--	---	--------------

(5) 二次交通の確保・利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
<p>乗りたくなる公共交通推進事業費 (2,791千円)</p>	<p>交通事業者が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み（車両のラッピング など）を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 8件 	<p>総合交通政策室</p>
<p>新幹線アクセス路線バス等調査・実証運行支援事業費 (4,042千円)</p>	<p>新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等へのバスルートの新設、既存バスルート・ダイヤの見直し等に係る調査・実証運行事業に対し支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 3件 	<p>総合交通政策室</p>
<p>富山地鉄新幹線二次交通活性化事業 (32,211千円)</p>	<p>富山地鉄が実施する新幹線開業に向けた積極的な誘客や利便性の向上に資する事業に対して、市町村と連携して支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業 観光列車の改造（トイレ新設） アテンダントの配置、列車増発の社会実験 外国人観光客向けの利便性向上 等 	<p>総合交通政策室</p>
<p>富山らくらく交通ナビリニューアル事業 (14,364千円)</p>	<p>公共交通機関による目的地までの経路、乗継、運行時刻などを分かりやすく案内する「富山らくらく交通ナビ」について、新幹線開業後のダイヤ、新運賃体系に対応するよう、検索機能の強化を図るなどシステムを改修し、観光客の利便性の向上を図った。</p>	<p>総合交通政策室</p>
<p>県内公共交通企画きっぷ社会実験事業 (10,065千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業に向け、県外からの観光客等に県内の公共交通を利用してもらうため、複数の県内交通事業者の協力により、県内を横断的に利用できる共通企画きっぷの造成・販売の社会実験を実施した。また、本県と長野県及び岐阜県とを結ぶ高速乗合バスについての調査を行った。</p>	<p>総合交通政策室</p>
<p>二次交通インフォメーションモデル事業 (8,529千円)</p>	<p>富山駅にインフォメーションブースをモデル的に設置し、北陸新幹線開業後の円滑かつ総合的な交通案内業務に生かすためのガイドラインの作成や交通案内業務を行う事業者等を対象とした研修会を実施した。</p>	<p>総合交通政策室</p>

定期観光路線バス定着支援事業 (8,624千円)	広域・周遊型観光を推進するため、観光路線バスの運行等に係る経費の一部を助成した。	観光課
ぐるっと富山観光バスツアー造成支援事業 (637千円)	県内の主要駅等を発着するバスツアーの造成に係る経費の一部を助成した。	観光課

4 国際観光の推進 ～ビジット・とやま・キャンペーンの展開～

(1) 東アジアからのリピーター確保、通年の魅力発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾冬季ツアー 造成応援事業 (4,045千円)	冬季の着地型観光商品の造成に対する支援や旅行会社の招聘等を実施し、台湾からの冬季誘客を図った。特に、台湾スキー協会と連携し、台湾からのスキー客を誘致した。	観光課
台湾南部における 観光物産展事業 (7,392千円)	台湾嘉義市および高雄市の新光三越において、観光地の魅力を紹介する観光物産展を開催し、知名度の向上と特産品の販路拡大を図った。 ・開催期間 平成26年10月16日～26日 平成26年10月27日～11月5日	観光課
冬季台湾観光案内 サポーター設置事業 (1,772千円)	冬季の誘客を図り、台湾出身の観光案内サポーターを設置し、中国語（繁体字）での情報発信を行うとともに観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光課
台湾等との教育 旅行誘致事業 (1,709千円)	本県と直行便で結ばれている台湾などの教育旅行関係者を招聘し、教育旅行の誘致、ひいては将来のリピーターや富山ファンづくりを図った。	観光課
台湾ファミリー マートにおける 観光キャンペーン 事業 (2,266千円)	台湾ファミリーマート（2,920店舗）と連携し、観光PR冊子を全店舗に配布するとともに、抽選で富山旅行等を提供する観光キャンペーンを実施した。 ・実施時期 平成26年12月10日～12月23日	観光課
富山ー台北便活 性化誘客推進事 業(30,000千円)	台北ー富山便を利用する富山ツアーを請負った旅行会社を支援し、観光客の来訪促進を図った。	観光課
香港グルメツア ー造成促進事業 (1,124千円)	メディア及び旅行会社を招聘し、富山の冬の味覚の情報発信とグルメツアーの造成を図った。	観光課
香港誘客促進P R事業 (1,763千円)	香港の雑誌2誌に富山県の観光地をPRする広告を掲載し、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。	観光課

韓国誘客強化事業 (5,753 千円)	韓国（ソウル市）において、観光 PR 交流会の開催や屋外広告掲出を行ったほか、現地 TV 番組を招聘し、観光客の来訪促進を図った。	観光課
韓国通年誘客 PR 事業 (1,262 千円)	年間を通じて誘客を図るため、旅行会社と連携した PR や雑誌取材の招聘を実施した。	観光課
瀋陽・香港観光プロモーション事業 (3,514 千円)	中国・遼寧省及び香港において観光説明会を開催し、本県への来客促進を図った。	観光課
上海戦略的広告活用事業 (2,201 千円)	上海市等において富山県の観光地を PR する広告を掲載し、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。 ・地下鉄広告、バスラッピング	観光課
中国（広州）国際旅游産業博覧会（C I T E）出展事業 (666 千円)	中国（広州）国際旅游産業博覧会（C I T E）に出展し、本県の豊富な観光資源を広く紹介することにより、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。 ・開催期間 平成 26 年 8 月 30 日～9 月 1 日 ・開催場所 中国 広州市	観光課
富山県大連事務所拠点 PR 事業 (307 千円)	富山県大連事務所を活用し、観光 PR コーナーの設置や現地旅行会社への訪問などの恒常的な PR 活動を行い、観光客の来訪促進を図った。	観光課
上海便及び北京・大連便活性化誘客推進事業 (32,232 千円)	上海－富山便及び北京・大連－富山便を利用した富山ツアーの催行に対して中国の旅行会社を助成し、観光客の誘致を推進した。	観光課
観光客誘致促進事業 (8,424 千円)	中国、韓国、台湾、香港、東南アジア及び欧米・豪州を対象に観光宣伝事業や旅行会社等に対する招聘事業を行い、観光客の来訪促進を図った。	観光課
観光客誘致広告支援事業 (9,629 千円)	中国、韓国、台湾等の旅行業者等が企画・催行する富山県向け旅行商品の広告を支援し、観光客の来訪促進を図った。 ・補助件数 12 件	観光課

<p>北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800 千円)</p>	<p>石川県、福井県と北陸国際観光テーマ地区推進協議会を組織し、海外での旅行博への出展や旅行会社の招聘等を通じ、外国からの観光客の来訪促進を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>中部広域観光推進協議会負担金 (再掲) (3,000 千円)</p>	<p>中部北陸9県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・ハイレベルミッションの派遣（マレーシア） ・国際観光振興事業の展開 など</p>	<p>観光課</p>
<p>(独) 国際観光振興機構負担金 (720 千円)</p>	<p>(独) 国際観光振興機構（J N T O）と連携して旅行者やマスメディア等の招聘などを行い、外国人旅行者の来訪促進を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>大連事務所運営費 (22,132 千円)</p>	<p>富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点にし、観光振興のための各種取組みを展開し、中国からの観光客の誘致促進を図った。 ・「瀋陽旅遊交易会」、「MA-TSU-RI 2014（大連）」、「大連日本商品展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション（瀋陽、大連）」等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR 等</p>	<p>国際・日本海政策課</p>
<p>農林水産物海外市場開拓事業 (6,487 千円)</p>	<p>県産農林水産物の海外への輸出を促進するための各種施策を展開し、海外に向けて県産農林水産物の魅力を発信した。 ・台湾、シンガポール、タイ、インドネシアの食品バイヤーとの県内商談会の開催 ・香港フード・エキスポへの参加 ・タイでの販売促進活動 など</p>	<p>農林水産企画課</p>
<p>飛越地域等との交流推進事業 (再掲) (536 千円)</p>	<p>飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地域振興を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、この地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、祭りや伝承、匠の技や味等のPR活動を全国や海外に向け展開した。 (協議会の主な事業) ・パンフレットやホームページによるPR ・飛越地域内で交流・連携活動を行う民間団体等への助成（1件） ・飛越地域への海外誘客の促進</p>	<p>知事政策局</p>

(2) 新規市場に向けた効果的な情報発信

事業名 (事業者)	実施状況	担当課
東南アジア観光 PR事業 (16,313千円)	東南アジアからの誘客を図るため、旅行博など現地プロモーションの実施や旅行会社招聘、広告掲載を行った。また、タイ・バンコク市において知事トップセールスを実施し、旅行会社向け観光説明会と一般消費者向けイベントにより来訪促進を図った。	観光課
羽田経由海外誘 客促進事業 (1,918千円)	海外から富山への直行便がない地域からの誘客を促進するため、羽田経由便を利用した行程で旅行会社招聘を行った。	観光課
航空会社連携海 外誘客推進事業 (893千円)	スターアライアンスに加盟する航空会社の日本支社長にて構成される会議を本県へ誘致し、観光業界に影響力の高い航空会社トップに富山の魅力をPRした。	観光課
欧米豪観光PR 事業 (3,779千円)	欧米での知名度向上及び観光客誘致の一環として、旅行予約サイトやロコミサイトに本県の観光広告を掲載したほか現地旅行博（ベルリン）出展を行った。	観光課
米国東海岸観光 PR事業 (1,581千円)	北陸新幹線開業を機に開催される北陸をテーマにしたメディア向けイベント（主催：日本政府観光局）に参加し、本県の知名度向上及び誘客を図った。	観光課
欧米豪観光客誘 致促進事業 (2,800千円)	高山市、日本のふるさとを守り育てる飛越協議会（飛騨市、白川村）と共同で、欧米豪向けWEBサイトに観光情報を掲載したほか、豪州での現地広告などを実施し、当該地域からの誘客を図った。	観光課
欧米PR広告事 業 (465千円)	欧米での知名度向上及び観光客誘致の一環として、旅行予約サイト（エクスペディア）に本県の観光広告を掲載した。	観光課
富山県オレゴン 州紹介展示事業 (400千円)	オレゴン州で開催された日本関連イベント等において、富山県を紹介するパネルやポスターを展示し、本県の観光資源について広くPRを行った。	国際・日本 海政策課
海外クルーズ見 本市への出展 (1,075千円)	米国・マイアミで開催されたクルーズ見本市に出展し、伏木富山港及び本県の豊かな観光資源について広くPRを行った。	港湾課

(3) 個人対応の情報発信と受入体制の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
Wi-Fi等整備支援事業(再掲) (1,664千円)	県内のホテル旅館等の観光施設が行う外国人観光客の受入体制整備(無線LANの整備)を支援した。 ・補助件数 8件	観光課
FIT(外国人個人旅行者)誘客推進事業 (1,466千円)	外国人個人旅行者向けに、県内周遊モデルコースを記載した観光パンフレットを作成した。	観光課
県内在住外国人による魅力発信事業 (3,732千円)	急増する外国人個人旅行客の満足度を向上させ、消費促進、長期滞在を促すため、外国人目線での富山の観光資源や富山での過ごし方についての情報発信を行い、外国人受入環境の向上を図った。	観光課
観光地誘導案内デザイン統一化促進事業(再掲) (2,339千円)	観光客の入り込み増加や利便性の確保を図るため、市町村が行う観光地誘導案内標識の多言語化を支援した。 ・外国語観光サイン整備 補助件数 新規4件 改修5件	観光課
外航クルーズおもてなし大作戦事業 (1,831千円)	クルーズ乗船客の満足度を高めるため、岸壁に観光案内所・物販販売コーナーを設置した。 ・実施回数 1回	観光課
とやま名誉友好大使の委嘱 (380千円)	外国人の本県在住経験者を「とやま名誉友好大使」に委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。 ・委嘱数 28人 (全体1,358人委嘱)	国際・日本海政策課

5 コンベンションの誘致促進

(1) コンベンション開催環境の周知と営業活動の強化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション 誘致宣伝事業 (1,869千円)	関係者を対象とした誘致説明会を開催し、本県の優れたコンベンション開催環境をアピールした。また、主催者を本県に招聘して現地説明会を開催し、コンベンション施設や宿泊施設、エクスカーションのモデルコース等を視察してもらうとともに、コンベンション開催支援制度等をPRし、コンベンションの誘致に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・誘致説明会 2回 平成26年12月9日～10日(東京) 平成26年11月14日(富山) ・現地説明会 5回(いずれも富山) 	観光課
誘致訪問活動 (979千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンション開催の誘致促進を図った。	観光課
コンベンション 誘致促進事業 (2,462千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。また、コンベンション開催会場において、運営補助を行うスタッフを配置するとともに、観光案内等を行うインフォメーションコーナーを設置した。	観光課
コンベンション 連絡調整会議の 開催 (44千円)	コンベンション連絡調整会議を開催し、コンベンション施策等について関係市等と意見交換を行い、コンベンション誘致体制及びネットワークの強化を図るとともに、施策の充実を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 4回 ・構成 県、(公財)富山コンベンションビューロー、富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、立山町、入善町 	観光課
(公財)富山コン ベンションビュー ロー補助金 (14,572千円)	(公財)富山コンベンションビューローが実施するコンベンションの誘致及びコンベンション主催者に対する支援等の活動経費に対し補助を行った。	観光課

<p>コンベンション 指導情報提供業 務委託事業 (5,000 千円)</p>	<p>コンベンションの中核施設である富山大手町コンベンション(株)を活用し、本県へのコンベンション誘致の更なる拡大を図るため、施設間の利用調整や主催者などへの情報提供等を実施した。</p>	<p>観光課</p>
<p>「富山で合宿！」誘致事業 (10,783 千円)</p>	<p>県外の大学、短大、高校等が県内で行うクラブ、サークル等の合宿に係る費用の一部を助成し、富山県への合宿の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績 67 団体 	<p>地域振興課</p>

(2) コンベンション開催に向けた支援の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学会等開催補助金 (13,250千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 27件	観光課
富山国際会議場運営費補助金 (30,457千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光課

(3) アフターコンベンション等の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション タクシー助成事業 (548千円)	<p>県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援するとともに、口コミによる本県のPRを図った。</p> <p>あわせて、タクシードライバーを対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、利用者に適切な観光案内を行うおもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 62件 ・観光ガイドドライバー養成講座の開催 <p>平成26年7月24日、8月4日 参加者44人</p>	観光課
コンベンション 歓迎PR事業 (4,576千円)	<p>本県で開催するコンベンションに対して、全県挙げての歓迎の意を示し、コンベンション参加者の満足度向上、コンベンションのリピート開催の促進を図るため、富山の地域資源を活かした歓迎企画等の立案及び準備を行った。</p>	観光課